

問1 関東平野の台地の大部分を覆っている、富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が降り積もってきた赤土の層を何といいますか。

(2021年 静岡県公立入試 類似)

1. 風成砂丘 2. 沖積土 3. シラス台地 4. 関東ローム

問2 群馬県の大水上山に源を発し、関東平野を横断して太平洋へと注ぐ河川について、日本で最も大きい「流域面積」を持つ一級河川の名称として正しいものを選びなさい。

(2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 信濃川 2. 荒川 3. 石狩川 4. 利根川

問3 関東地方の北西部に位置する内陸県で、県庁所在地を前橋市に置く県はどこですか。この県は東京都から埼玉県を経て長野県へと向かう北陸新幹線の沿線にあり、交通の要所となっています。

(2016年 静岡県公立入試 類似)

1. 群馬県 2. 茨城県 3. 栃木県 4. 山梨県

問4 千葉県の浦安市から袖ケ浦市、富津市に至る東京湾の東岸に位置する工業地域について述べた文として、正しいものを選択してください。

(2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 広大な埋立地を利用して、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が集中している。 2. 豊かな水資源と電力を利用して、内陸部でアルミニウム工業や繊維工業が発展している。 3. 古くからの市街地を中心に、出版・印刷業や機械工業などの都市型工業が発達している。 4. 高速道路のインターチェンジ付近に、電子部品やIC（集積回路）を製造する工場が進出している。

問5 東京都とその周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県における人口動態について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。なお、統計上、東京都は昼間人口が夜間人口を約270万人上回っており、近隣三県はいずれも夜間人口が昼間人口を上回っています。

(2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 東京都では夜間の観光客が非常に多いため、統計上の夜間人口が昼間人口よりも少なく算出されている。 2. 東京都に住む多くの人々が、工場や学校が集まる周辺三県へ日中に移動しているため、周辺三県の夜間人口が多くなっている。 3. 周辺三県は、東京都に比べて出生率が非常に高いため、居住者を表す夜間人口が昼間人口を上回っている。 4. 周辺三県に住む多くの人々が、通勤や通学のために東京都へ移動しているため、東京都の昼間人口が多くなっている。

問6 群馬県などの北関東や東海地方の工業都市では、南アメリカ出身の在留外国人が多く生活しています。これらの地域で、公共施設の案内板や広報誌が「日本語」と「ポルトガル語」で併記されている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2018年 鳥取県公立入試 類似)

1. 高度経済成長期に、石炭から石油へのエネルギー革命の影響で失業した海外の炭鉱労働者を積極的に受け入れたため。 2. 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。 3. 技能実習制度の拡充により、農業や漁業の技術を習得するために南アメリカ諸国から多くの若者が来日したため。 4. 経済連携協定（EPA）に基づき、看護師や介護福祉士の国家資格取得を目指す東南アジア出身者が急増したため。

問7 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。

(2023年 山形県公立入試 類似)

1. 栃木県 2. 福島県 3. 群馬県 4. 滋賀県

問8 日本の諸地域における産業の特色について、2021年の統計では東京都の出版業事業所数が全国の55.5%を占めており、2位の大阪府（6.6%）や3位の神奈川県（3.7%）を大きく引き離しています。このように出版業が東京に極端に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 首都として国内外から多くの人々が集まるため、新しい情報が集まってきやすいという利点があるから。 2. 他の都道府県に比べて土地の価格が安く、大規模な印刷工場を建設するための広い用地を確保しやすいから。 3. 内陸部に位置しているため、津波などの自然災害の影響を受けにくく、在庫を安全に保管できるから。 4. 出版物の原材料となる木材やパルプの産地に近く、原料の調達や輸送にかかるコストを抑えられるから。

問9 群馬県の産業やエネルギー事情について述べた文として、統計的な事実と地理的背景に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。

(2024年 岡山県公立入試 類似)

1. 大規模な臨海工業地帯を有しているため、製造品出荷額における化学工業の割合が全国で最も高い。 2. 東京都に隣接しているため、昼間人口が夜間人口を大きく上回る都市型の産業構造となっている。 3. 利根川などの豊富な水資源と地形の起伏を活かし、火力発電よりも水力発電による発電量が圧倒的に多い。 4. 広大な平野部をすべて農地としているため、製造品出荷額よりも農業産出額の方が大きくなっている。

問10 成田国際空港を擁する千葉県の、訪日外国人観光に関する統計上の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。

(2025年 千葉県公立入試 類似)

1. 延べ訪問者数と一人当たりの旅行消費単価のどちらも全国最下位に近い水準であり、空港の活用が課題となっている。 2. 延べ訪問者数は全国トップクラスであるが、一人当たりの旅行消費単価は全国でも極めて低い水準にある。 3. 一人当たりの旅行消費単価が全国5位以内と非常に高い一方で、延べ訪問者数は全国平均を下回っている。 4. 成田国際空港からのアクセスが良いため、延べ宿泊者数が延べ訪問者数を上回るという逆転現象が起きている。

問11 2021年の農業統計において、千葉県は農業産出額が3,853億円にのぼり、全国でも有数の農業県となっています。この県で、農業産出額のうち野菜と畜産の合計が全体の約3分の2を占めている理由として、地理的な背景をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2024年 山口県公立入試 類似)

1. 黒潮の影響による温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを用いて野菜の収穫時期を早めているため。 2. 傾斜の多い地形を活かして、水はけの良さを必要とする果樹栽培が古くから地域の主産業となっているため。 3. 広大な十勝平野のような平坦地を活かして、機械化による大規模な畑作や酪農が展開されているため。 4. 巨大な消費地である首都圏に近く、輸送コストを抑えながら鮮度が求められる野菜や畜産物を出荷できるため。

問12 日本の農業統計において、ピーマンやほうれん草の収穫量が全国1位、はくさいが全国2位となっている茨城県では、その地理的条件を活かした農業が盛んです。東京などの大消費地に隣接しているという利点を最大限に活用したこの農業形態の名称として、最も適切なものはどれですか。

(2024年 福井県公立入試 類似)

1. 近郊農業 2. 抑制栽培 3. 促成栽培 4. 地産地消

答え合わせ・解説

問1	答え 4 関東ローム	この土層は、数万年前からの火山活動によって飛散した火山灰が、関東平野に存在する古い台地の上に長期間にわたって堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分が酸化しているため、独特の赤褐色（赤土）を呈しています。
問2	答え 4 利根川	関東地方を流れる利根川は、その流域面積が約1万6840平方キロメートルにおよび、日本の河川の中で第1位となっています。「坂東太郎」という愛称でも親しまれ、首都圏の生活用水や工業用水、農業用水を支える重要な役割を担っています。なお、日本で最も「長さ」が長い河川は信濃川であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 群馬県	関東地方には海に面していない「内陸県」がいくつか存在しますが、その中で最も北西に位置するのが群馬県です。東京都から見て、北側に位置する埼玉県の際に北西に隣接しており、北陸新幹線や上越新幹線が通る高崎駅などを擁しています。また、県庁所在地は前橋市です。
問4	答え 1 広大な埋立地を利用して、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が集中している。	千葉県側の東京湾沿岸に広がる京葉工業地域は、戦後の高度経済成長期に大規模な埋立が行われて形成されました。この地域は原料の輸入や製品の出荷に便利な臨海部の利点を活かし、広大な敷地を必要とする石油化学工業や鉄鋼業といった重化学工業の割合が非常に高いことが特徴です。
問5	答え 4 周辺三県に住む多くの人々が、通勤や通学のために東京都へ移動しているため、東京都の昼間人口が多くなっている。	昼間人口は、常住人口（夜間人口）に、通勤・通学による流入人口を加え、流出人口を差し引くことで算出されます。東京都には都心部に多くのオフィスや学校が集中している一方、地価の高い都心を避けて周辺の埼玉県や千葉県などの「ベッドタウン」に住居を構える人が多いため、日中は周辺県から東京都へ大規模な人口移動が発生します。その結果、東京都の昼間人口が夜間人口を大きく上回る現象が起きています。
問6	答え 2 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。	日本の製造業における労働力不足を補うため、1990年に入管法が改正され、日系ブラジル人などが日本で働くことが容易になりました。彼らが自動車産業などの工場が集まる地域に集中的に住むようになったため、生活支援の一環としてブラジルの公用語であるポルトガル語での情報提供が重要視されるようになりました。
問7	答え 1 栃木県	栃木県は関東地方を代表する農業県の一つであり、米の産出額などの統計において、山形県や大分県といった各地方の主要な農業県と比較されることがあります。北関東の内陸部という地理的条件を活かし、水田単作地帯だけでなく、園芸農業も発展しています。同じ北関東の内陸県である群馬県は、からっ風を利用した畑作や畜産のイメージが強いのにに対し、栃木県は平野部での安定した米作りが大きな特徴です。
問8	答え 1 首都として国内外から多くの人々が集まるため、新しい情報が集まってきやすいという利点があるから。	東京都は日本の首都であり、政治、経済、文化の中心地です。出版業のような情報関連産業は、情報の鮮度や多様性が重要であるため、国内外から多くの人や企業が集まり、常に新しい情報が集まってくる環境にある東京に集中しています。一方で、土地が安い、あるいは原材料の産地に近いといった理由は、重化学工業や製紙業などの立地条件であり、出版業の集中理由としては不適切です。
問9	答え 3 利根川などの豊富な水資源と地形の起伏を活かし、火力発電よりも水力発電による発電量が圧倒的に多い。	群馬県は「水と緑のキャンプ場」と称されることもあるように、利根川の源流域を含む豊かな水資源に恵まれています。内陸県であるため、燃料の輸入に有利な沿岸部のような大規模な火力発電所が少ない一方で、山地から平地へ流れる水の落差を利用した水力発電が古くから発達してきました。また、製造品出荷額が約7.8兆円と農業産出額（約2,463億円）を大きく上回っている点も重要な特徴です。
問10	答え 2 延べ訪問者数は全国トップクラスであるが、一人当たりの旅行消費単価は全国でも極めて低い水準にある。	千葉県は日本の玄関口である成田国際空港を有しているため、訪日外国人の延べ訪問者数では東京都や大阪府に次ぐ全国3位という極めて高い水準にあります。しかし、空港から都心部などへそのまま移動してしまう観光客が多く、県内での滞在時間や消費機会が少ないため、一人当たりの旅行消費単価は全国46位（約1.8万円）と低迷しています。
問11	答え 4 巨大な消費地である首都圏に近く、輸送コストを抑えながら鮮度が求められる野菜や畜産物を出荷できるため。	千葉県は首都圏という巨大な市場に隣接しているため、生産した農産物を短時間で市場へ運ぶことができます。野菜は鮮度が落ちやすく、また畜産物も消費地に近い場所での生産が有利に働くため、この立地条件を最大限に活用した農業が発達しました。他の選択肢にある大規模畑作は北海道、促成栽培は高知県や宮崎県などの特徴です。
問12	答え 1 近郊農業	茨城県は関東平野に位置し、巨大な消費地である東京都心に近いという地理的優位性を持っています。このように、都市の周辺で新鮮な野菜などを生産し、輸送コストを抑えて供給する農業は「近郊農業」と呼ばれます。これにより、消費者は鮮度の高い農産物を比較的安価に購入することができ、生産者は輸送時間を短縮できるというメリットがあります。